

## 宮崎県における飼料作物の生産利用技術の実態 第2報 サイレージの品質

松浦好敏・柄本 康・田村紘吉 (宮崎県畜産試験場)

Yoshitoshi MATSUURA, Yasushi ENOMOTO and Koukichi TAMURA : Culture and Utilization of Forage Crop in Miyazaki Prefecture. 2. Quality of Silage

近年、本県においても、粗飼料のサイレージ利用が多くなるにつれ、その品質、栄養成分含量などを明らかにすることが必要となってきた。このため、自給飼料分析指導センターを活用し、その実態の一部を明らかにしたので報告する。

### 1. 調査方法

1985年6月から1986年3月までに自給飼料分析指導センターで分析を行ったイタリアンライグラス241件、トウモロコシ608件、ソルガム96件、トウモロコシとソルガムの混播110件のサイレージを対象に調査を行った。

### 2. 結果および考察

1) サイレージの水分含量と pH の分析 イタリアンライグラスは、水分が50~90%、pHが3~6とバラツキが大きく、しかも80%以上と高水分のものが一番草で25%、二番草で31%もみられる。また、pHも高く、4.5以上のものが一番草で33%、二番草で45%もみられる。この二番草での高いpHは、80%以上の高水分サイレージの割合が、一番草より高いことも1つの要因と考えら

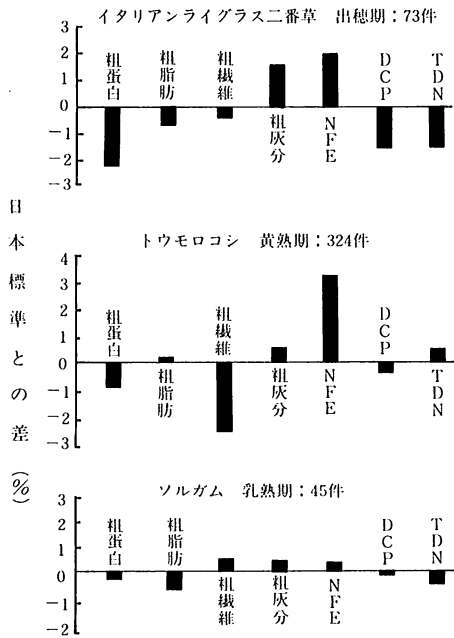
れる。トウモロコシ、ソルガム、トウモロコシとソルガムの混播については、ほとんど水分が80%以下、pHが4.4以下と比較的に良好であった。

このため、今後は、イタリアンライグラスに重点を置いたサイレージ調整技術の普及指導が必要である。

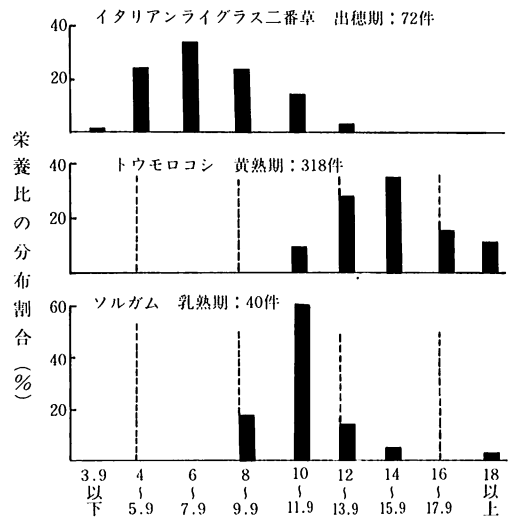
2) 日本標準飼料成分表との比較 サイレージのTDN、DCPは、第1図のとおりイタリアンライグラスでは、日本標準飼料成分表より1~2%低いのが、トウモロコシおよびソルガムではほとんど同じであった。イタリアンライグラスの高い粗灰分含量は、収穫方法の57%を占めているフレールハーベスター刈などによる土砂の混入も1つの要因と考えられる。

3) サイレージの栄養比の分布割合 イタリアンライグラスサイレージの栄養比は、第2図のとおり4~12で、トウモロコシ、ソルガムは8~18に分布している。このように、夏作の長大飼料作物の栄養比は8以上と高いため、栄養比の狭い飼料作物の夏作への導入やイタリアンライグラスサイレージなどとの組合せにより、家畜に対して栄養バランスのとれた飼料の給与に努めることが必要である。

なお、トウモロコシとソルガムの混播の栄養比は、トウモロコシおよびソルガム単播の中間であった。



第1図 サイレージ成分含量の日本標準飼料成分量との比較



第2図 サイレージの栄養比の分布割合